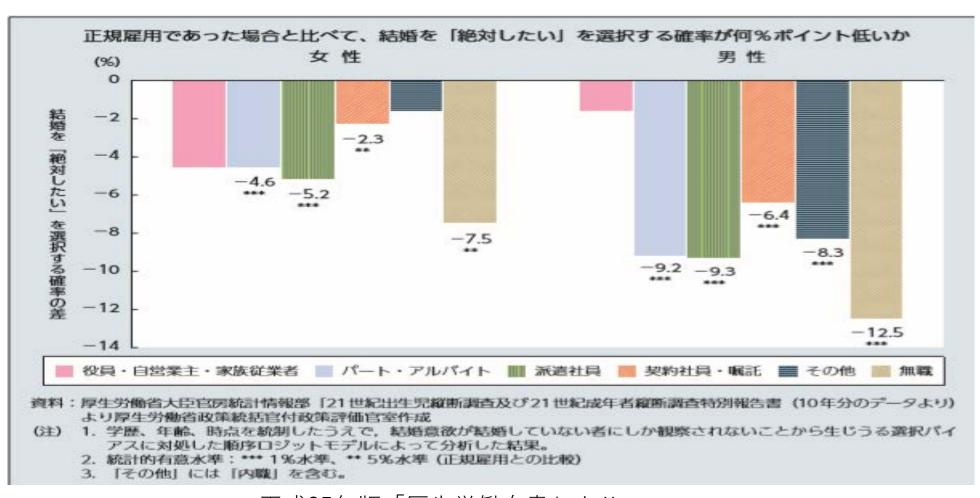
補足資料(前田正子)

- ①人々のライフコース選択は自由であるべきだが、 そもそも家族を持ちたい・持てるという意欲や希望が持てる状況に なれない若者が少なくないのではないか
- ②若者が安定した雇用を得て、社会的に自立するまでの支援が不十分 なのではないか⇒学卒後に正規雇用にならないと社会人としての野 力開発の機会にも恵まれにくい・不安定雇用の中で転職を繰り返し、 無業化する恐れも
- ③若者の雇用の安定化やそれぞれにふさわしい社会参加の機会を それぞれの希望に応じて提供するべきではないか ⇒社会の埋もれた人材の発掘になる

就業形態と結婚意欲との関係

正規雇用者に比べて他の就業形態の者は結婚意欲が低い傾向がみられる一少子化の主要因は未婚化の進展だが



平成25年版「厚生労働白書」より

社会参加への働きかけが無業女性に必要ではないか

男性に比べ女性が無業でいることには社会的関心や危機感が低いが

【未婚H29・2017年】	全国	
---------------	----	--

(女性)	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳
総数	2792200	1998900	1249900	913900	891900	755600	500500	310400
有業者	1962300	1767700	1079200	776700	751700	610800	392100	221100
割合(%)	70.3%	88.4%	86.3%	85.0%	84.3%	80.8%	78.3%	71.2%
無業者	829900	231100	170700	137200	140200	144800	108400	89200
割合(%)	29.7%	11.6%	13.7%	15.0%	15.7%	19.2%	21.7%	28.7%
家事をしている者	58600	76300	71800	61300	60000	71600	58300	43500
割合(%)	2.1%	3.8%	5.7%	6.7%	6.7%	9.5%	11.6%	14.0%
通学している者	655900	44800	7100	3300	2400	900	900	600
割合(%)	23.5%	2.2%	0.6%	0.4%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%
その他	115200	110000	91600	71700	77900	72200	49200	44800
割合(%)	4.1%	5.5%	7.3%	7.8%	8.7%	9.6%	9.8%	14.4%

「就業構造基本調査」より筆者試算 「家事をしている者」でも実際に家事をしている者は少数派

未婚有業女性でも非正規雇用者が多い(2017年未婚女性)

不安定な雇用状況の未婚女性は少なくない

	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44 歳	45~49 歳	50~54 歳	55~59 歳
総数	1962300	1767700	1079200	776700	751700	610800	392100	221100
うち雇用者	1941800	1735300	1043900	745500	717200	577300	367700	200900
割合(%)	99.0%	98.2%	96.7%	96.0%	95.4%	94.5%	93.8%	90.9%
うち正規の職員・従業員	1102900	1209800	668800	471100	454300	355900	228900	119400
割合(%)	56.2%	68.4%	62.0%	60.7%	60.4%	58.3%	58.4%	54.0%
うち非正規の職員・従業員	834800	520000	367600	269100	253600	213600	130200	75300
割合(%)	42.5%	29.4%	34.1%	34.6%	33.7%	35.0%	33.2%	34.1%

「就業構造基本調査」より筆者試算

(参考)大学生の卒業時の状況

卒業年	卒業生数	l l	2一時的な仕事に	 .① と②をたした 者が卒業生全体に	2015年の年齢	卒業時の状況		
マー・デース ない者 ない者	ない者	就いた者	占める割合	(「国勢調査」実 施	(2020年の年齢)			
1999	532436	105976	16023	22.9%				
2000	538683	121083	22633	26.7%	05~00#	後期就職氷河期 (37~43歳)		
2001	545512	116396	21514	25.3%	- 35~28歳			
2002	547711	118832	23205	25.9%				
2003	544894	122674	25255	27.1%				
2004	548897	110035	24754	24.6%	1			
2005	551016	98001	19507	21.3%	30~34歳			
2006	558184	82009	16659	17.7%	ļ	雇用回復期(34- 36歳)		
2007	559090	69296	13287	14.8%				
2008	555690	59791	11485	12.8%				
2009	559539	67894	12991	14.5%		ポストリーマン ショック(29~33 歳)		
2010	541428	87174	19332	19.7%	25~29歳			
2011	552358	88007	19107	19.4%				
2012	558692	86566	19569	19.0%				
2013	558853	75928	16850	16.6%				
2014	565673	68484	14519	14.7%	20から24歳	人手不足(25~28		
2015	564035	58102	11730	12.4%				
2016	559678	48866	10184	10.6%		藏)		
2017	567763	44182	9183	9.4%				

文部科学省「学校基本調査」より筆者作成